

「ぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を実施

～篠原第1・第2こどもの家の児童7名が「審査員特別賞」を受賞～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、第22回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「審査員特別賞」を受賞した「しのはらのみんなの安全をまもり隊の5年生の児童7名」に対し、2月20日（金）に滋賀県野洲市の篠原学童保育所において表彰式を実施しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2025年度は全国の小学校、子ども会、児童館など407団体から6,665人が参加し、1,289作品（うち、当協会の専用タブレットを用いて作成したデジタルマップは548作品）が寄せられ、そのうち22作品が入賞（デジタルマップ特別賞含む）しました。

本作品は、防犯をテーマとして、学校周辺の施設から防犯ブザーが聞こえる範囲や音の聞こえ方を調べ、交通量の多い時間帯や新幹線通過時で違いがあることをまとめるとともに、防犯について意識調査を行うなどインタビューもしっかり行った作品です。児童も学童保育所の先生も大変喜んでいました。

表彰式では、校長先生や野洲市社会福祉協議会などが見守る中、当協会の佐藤 浩司 滋賀損保会長（三井住友海上火災保険株式会社滋賀支店長）から表彰状および副賞・参加賞が贈呈されました。また、当協会の吉澤 篤史 近畿支部事務局長から、審査員特別賞の授賞理由について、不審者に遭遇した際の行動要領やSOSの出し方をイラストとあわせて記載することで、具体的にどの場面でどう行動すればよいか分かる実用的なマップとなっている点などが評価されたとのコメントがありました。今後、小学校の全校集会で作品の発表を兼ね、校長先生から改めて賞状などの贈呈がある予定です。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。



賞状贈呈



講評



集合写真